

基本目標2 「育み・学び・思いやり」の質の高いまち

分野別政策4 子どもが健やかに育つ環境の整備

施策 No. 11 児童福祉の推進

10年後のめざす姿 子育て家庭が孤立することなく、子どもの権利が保障され、いきいきと育つ環境づくりが進んでいます。

住みよさ指標	当初	単位	実績値の推移					目標値(H37)	評価	
			H28	H29	H30	H31	H32			
1 「児童に対する福祉」に関する市民満足度	14.3	%	目標値	15.0	15.0			17.0	20.0	↘
			実績値	9.8						
2 児童虐待見守り件数	283	件	目標値	280	300			245	205	↘
			実績値	310						
3 児童扶養手当支給停止者の割合(一部及び全部停止)	47.8	%	目標値	48.0	50.0			50.0	52.0	○
			実績値	49.7						

総合評価	住みよさ指標の状況
<b>C</b>	<p>「児童に対する福祉」については、市民意識調査の結果において、満足度の数値が低下しているが、各施策における主な事業は、目標どおりの成果が上がっている。</p> <p>児童の面前でのDVが心理的虐待に当たることから、それにより警察からの虐待通告が全国的に増加している。本市においても同様で、これらのことから児童虐待の見守り件数も増加しており目標値と実績値に乖離が見られた。</p> <p>児童扶養手当支給停止者については、雇用情勢が向上したことから、わずかではあるが予定値を上回る結果となった。</p>
施策を構成する事業の状況	
<p>コミュニケーションや社会性を学ぶため、発達障がい児に対する個別療育の場を確保し、自立度の向上などが図れた。</p> <p>サポートブック「はーと」の活用の推進を図った。</p> <p>ひとり親家庭の自立生活を支援するため、ハローワークと連携した就労支援や自立支援給付金事業を実施。要保護児童対策地域協議会による情報共有と見守りの実施。</p>	

これまでの取組み	<p>配慮の必要な親子に対して、「子育て」できる環境を整えるため、就園(学)先と確かな情報を共有しながらサポートブック「はーと」活用の啓発と支援者向けの講習会等を実施した。</p> <p>児童虐待の未然防止と早期発見を図るため関係機関の連携強化と見守り体制の強化を図った。</p> <p>ひとり親家庭の自立支援給付金の拡充を図った。</p>
課題(めざす姿との差)	<p>少子化により児童数は減少傾向にあることに反して、児童の面前でのDVが心理的虐待に当たることにより警察からの虐待通告が増加しているため、更なる関係機関の連携の強化が必要。</p>
今後の方向性	<p>子どもの貧困に対する施策として、ひとり親家庭に対する支援の拡充について検討が必要である。</p> <p>子育て支援事業との連携により子育て世帯の孤立防止や相談体制の強化を図ることで児童虐待の未然防止の推進を図る。</p>